

NCPタイムズ

Nihon CellonPack Times

発行所
日本セロンパック株式会社
大阪本社
〒540-0022
大阪市中央区糸屋町1-4-7
TEL.06-6941-8851
FAX.06-6943-8855

NCP
第5号

2012.1.20発行

Times

上海進出!

トピックス1,2,3 TOPIX

中国上海に現地法人を 設立準備中



現在、弊社では「グローバル展開する国内外の得意先/生産拠点へ、タイミングよく適正な価格で、軟包装資材を提供できる生産態勢」の確立を目指し、中国/上海に現地法人を設立準備中です。2011年10月には上海市延安中路にオフィスを賃貸し、社名も「勢容商貿(上海)有限公司」に決定いたしました。

2012年4月営業開始を目指し、海外事業部/光富部長と現地法人設立準備室/福長室長が中心となり、中国国内の日系企業の軟包装資材ニーズ調査やニーズ対応などの活動を開始しています。将来的には、日本国内へも軟包装資材を輸入できるよう品質保証などの海外生産態勢の充実をめざしています。

中国国内で既に生産活動をされている皆さまや今後生産拠点を検討されている皆さまは、是非とも国内営業担当にご相談ください。

皆さまと共に、弊社国内外の役職員が一丸となり、最適な軟包装資材の供給態勢を構築していく所存です。

(経営企画部・土橋 秀行)



海外研修を受講して

2011年9月18日から約1週間、海外研修(インドネシア、マレーシア)に参加しました。研修目的は日本国内に輸入しているフィルム工場の視察でした。アルミ箔、OPP、CPP、LLDPE、蒸着のフィルム製造メーカーとコンパニングのメーカー5社を訪問しました。当初思っていたイメージとは違い日本と変わらない機械設備を使用していました。しかし品質管理面では入室管理などで改善が必要と思われる点多々ありました。日本のフィルムメーカーが指導している工場では、エアシャワーを完備するなど日本とほぼ同じ品質レベルでした。ただし各社に言えることは、上層部は品質向上への努力はみうけられたものの、実際、現場オペレーターの意識がどうなのか質問したかったのですが、英語力不足で直接話が出来ませんでした。ちょっと歯がゆかったです。

日本向け輸出増強の為に、2013年には工場を新築予定とのことでした。またISO22000取得予定のメーカーでは食品への異物混入、毛髪混入、防虫対策、食品の安全・安心を追求する品質及び工程管理を徹底されるとのことです。近い将来、日本のフィルム市場にも大きく影響を与えると思われます。

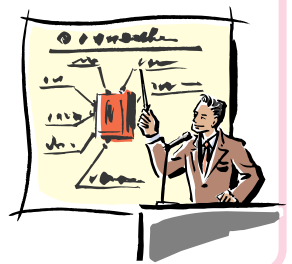
(生産部・芝 孝司)



マーケティング入門を受講して

2011年6月21日「マーケティング入門」を受講いたしました。マーケティングとは「売れる仕組みづくり」をさしますが、全ては顧客のことを考えて行わなければなりません。これが引いては会社の為になっていきます。不況でも業績が伸びている会社は指名買いをもらっている会社です。これからの企業が勝ち残っていくためには、お客様のニーズをつかんで、自社に合った戦略をたてお客様から求められる存在にならなければなりません。実践的な実習では「キットカット」の新商品を開発・販売するという設定でグループごとに考えました。わたしのグループでは「キットカット・キット」というタイトルでキットカットを自宅で作れる商品を考えました。しかし、当日学んだ戦略方法を使って販売範囲を絞っていくと他社商品との価格差や購買層に当てはまらず、説得力のない商品になりました。今回学んだ事を活かしお客様のニーズに合うようなデザイン・フィルム構成・袋形状を提案していきたいと思えます。

(営業部・吉井 文介)



名古屋と静岡の地域特色

このたびの人事異動で12月に名古屋営業所から静岡営業所に着任しました。郷に入れば郷に従えと言います。所変わればお客様も材質構成も相当変わるなと感じております。名古屋は菓子中心、静岡は食品中心の得意先で、それぞれ全く異なった材質構成で環境も変わり戸惑っております。逆にこの歳になって新たな勉強が出来る機会だと喜んでおります。菓子はOPP//CPPやPET中心の構成が多かったのですが、静岡の食品関係では材質構成が付加価値の1つだとの考えが浸透しています。いかに機能性を持った材質をチョイスするのかを色々検討されています。その構成がそのメーカー様の顔ではないかとも思います。また菓子は構成をシンプルにする事で短納期に対応し、食品は材質構成を複雑にする事が付加価値だと考えているのだと思います。今後は色々な材質構成を学び、更に提案に付加価値を付けた営業を行なっていきたいと考えております。

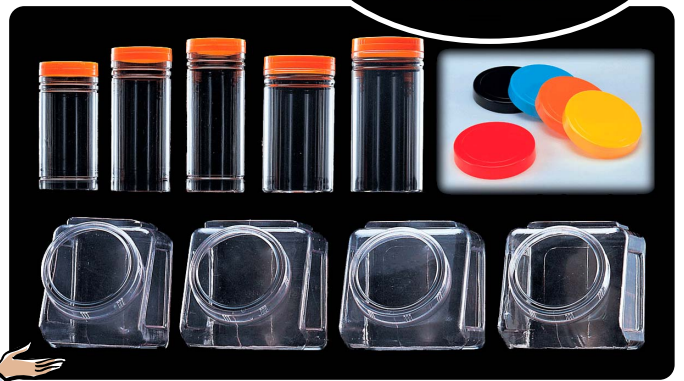
(静岡営業所・野田 修)



特集 弊社からの容器のご提案 今号は、名古屋支店です。

弊社ではフィルム以外にもさまざまな形態のご提案ができます。その一つにインジェクション成形、ブロー成形の容器がございます。材質もPET、PVCなど取り揃えています。用途は珍味、米菓、飴などの定番品から最近ではミニワッフル、人形焼、雑貨などまで入れて販売するお客様がいらっしゃいます。容器の大きさもさまざま取り揃えておりますが、キャップの色も受注生産にて成形できます。いままでと違った形での販売を希望されているお客様にぜひ弊社から容器のご提案をさせていただきます。

(名古屋支店・橋本 聖)



ちょっとひと休み

クロスワードクイズ

(ホームページ:CROSSWORD PUZZLE より)

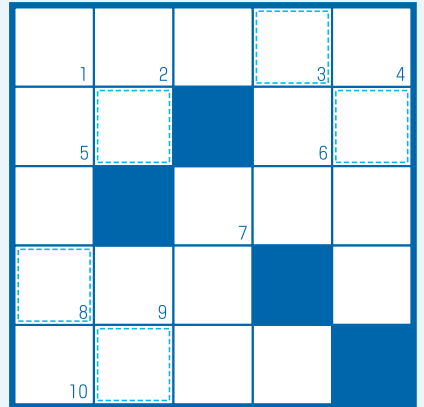
ヨロのカギ

- 1) 突然失踪すること。千と千尋の。
- 5) いくら掛けても同じ数になる数字。
- 6) タイム〇〇…貴重な時間が無駄に。
- 7) 適者生存。
- 8) フィクションです。
- 10) 鯛の頭や柵を戸口に挿す日。

タテのカギ

- 1) 出たところ勝負。
- 2) 〇〇のヴィーナスはルーブル美術館に。
- 3) 若いうちの〇〇〇は買ってでもしろ。
- 4) 修道女。
- 7) ヘルメットで〇〇〇を保護。
- 9) お手々つないで野道を行けば…「〇〇がなる」。

[ヒント:1・2月にちなんだ植物です。] (答えは次号に掲載します) 破線付きの枠に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



直言直筆

私自身、果物はあまり口にしないのですが、こたつの上に何気に置いているみかんだけはよく口にします。先日、テレビでみかんの効能について話をしていました。みかんにはビタミンCが豊富に含まれており、風邪によく効くというのは昔から聞いていました。実はそれ以外にもビタミンCには、更なる効能があるようです。みかんに豊富に含まれているビタミンCには、実は発がん物質が、がん遺伝子を目覚めさせる作用(酸化作用)を抑える働きがあり、最近よく聞く活性酸素の害から身体を守るとも言われています。ビタミンCにはこの他、血管などを柔軟に保ち、老化を防ぐ効果もあるようです。みかん以外でもイチゴや野菜からもビタミンCは補給できますが、食べる前に水で洗う事によりビタミンCが流されてしまうそうです。その点、みかんはそのまま食べる事ができるので、ビタミンCも丸ごと摂る事ができ、手軽なビタミンCの供給源として役立っているとのことでした。

(総務部・杉村 正好)

前号のクロスワード答え

せ	み	し	ぐ	れ
ん	し	ん	い	
	ひ	ぎ	と	
と	ら	た	う	
ひ	や	や	っ	こ

【ひぐらし】

